

安全報告書

2016年度版

肥薩おれんじ鉄道

この安全報告書は、当社における鉄道輸送の安全の確保のための取組や安全の実態をまとめたものです。ご意見・感想をお寄せ下さい。

1 利用者はじめ地元の皆さまへ

当社の鉄道事業に対して、日頃よりご利用頂きますとともにご理解を賜り、誠に有り難うございます。当社は、経営理念の第一に「安全の確保」を掲げ、法令の遵守のもと、安全輸送に努めております。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取組みや安全の実態について公表するものです。今後とも安全で安心できる鉄道を目指して参りますので皆さまからの積極的なご意見を頂ければ幸いです。

肥薩おれんじ鉄道株式会社
代表取締役社長 出田 貴康

2 輸送の安全確保に関する基本的な考え方

(1) 安全基本方針

当社の経営理念の第一は、安全の確保です。「安全基本方針」を次のように定め役員・社員はじめ鉄道事業に携わる全ての関係者に周知・徹底しております。

- ① 安全の確保は、輸送の生命である。
- ② 規程の遵守は、安全の基礎である。
- ③ 執務の厳正は、安全の要件である。
- ④ 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとる。
- ⑤ 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保する。
- ⑥ 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦する。

(2) 安全目標（2012～2016年度）

区 分	項 目	内 容
目 標	列車事故（衝突・脱線・火災）	発生させない。
	乗客の死亡事故	乗客の死亡事故は発生させない。
	踏切の故障に伴う事故	発生させない。

(3) 安全目標に対する実績（件数）

年 度	2012	2013	2014	2015	2016
列車事故（衝突・脱線・火災）	0	0	0	0	0
乗客の死亡事故	0	0	0	0	0
踏切の故障に伴う事故	0	0	0	0	0

※ 開業以来、列車事故等は発生していません。

3 輸送の安全の実態

(1) 鉄道運転事故

年 度	2012	2013	2014	2015	2016
事故件数	1	0	1	0	1
死傷者	0	0	0	0	0
うち死亡者	0	0	0	0	0

※ 2012年度、2014年度、2016年度の鉄道運転事故はともに踏切障害事故です。

(2) 災害（地震、暴風雨などによる鉄道施設への被害）

2016年度は、4月中旬に「熊本地震」が発生しましたが、施設への被害はありませんでした。また梅雨期の長雨や台風の影響についても、多少の被害はあったものの長時間列車の運転を見合わせるようなことはありませんでした。

(3) 輸送障害（30分以上の遅延や運休）

2016年度に発生した輸送障害は表の通りです。

項 目	件 数	特 記 す べ き 輸 送 障 害
自然災害など	18	地震や大雨・大雪により生じたもの
設備故障など	9	車両、保安装置の不具合により生じたもの
第三者障害など	4	踏切障害事故や列車支障により生じたもの

(4) インシデント（事故の兆候）

2016年度は、インシデントの発生はありませんでした。

(5) 行政指導等

2016年度は、行政から指導を受ける事象はありませんでした。

4 重点安全施策の内容

(1) 重点安全施策

運転士の指導に係わる事項の一つとして、アルコール検知器による検査を、また、睡眠時無呼吸症候群（SAS）に対しては簡易なスクリーニング検査を継続的に実施し、酒気帯び運転の防止や社員の健康管理に努めました。

一方、工事に対する安全対策として施工会社と共に「事故防止講習会」を定例的に開催し、施工方法・手順の遵守、保護具の着用等について周知徹底を図り運転事故及び労働災害の防止に取り組みました。

(2) 異常時対応訓練

当社では、安全・安定輸送を第一に異常時対応訓練を毎年実施して早期運転再開に向けた知識・技術力の向上に取り組んでいます。

2016年度に開催した訓練は次の通りです。

- ①八代駅貨物線においてJR貨物と合同で実際に列車を脱線させた状態から復旧に至るまでの「脱線復旧訓練」を各系統の社員が参加して開催
- ②袋駅構内において車両故障が発生し自力での運転が出来なくなったとの想定で救援列車を運転させるという「異常時運転取扱訓練」を運転部門の社員が参加して開催

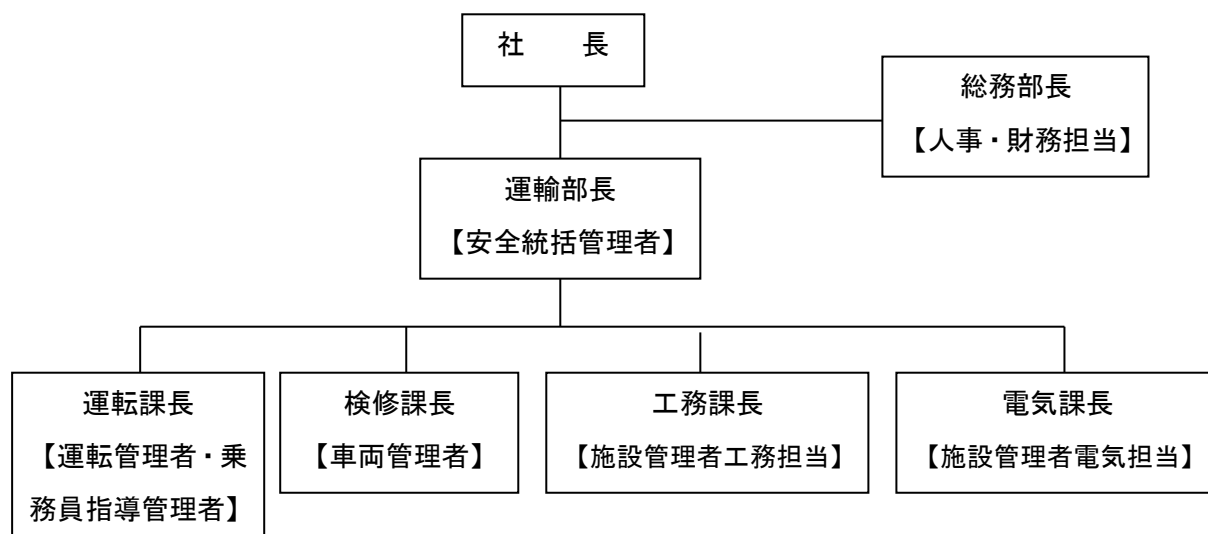
(3) 安全・安定輸送のための設備投資

当社全駅の信号機のLED化が完了しました。またレールの交換やマクラギのPC化、踏切保安装置の更新など毎年計画的に実施しています。車両面では10両の車輪取替えを実施したほか、各種車両機器の更新を行い、安全・安定輸送の維持・向上を図るとともに、乗り心地の向上にも取り組みました。また視覚障害者のホーム転落防止のため、全ての駅ホームに点字ブロックを整備しています。

5 安全管理体制

(1) 組織体制

当社では、社長をトップとする安全管理組織を構築・運用しています。この組織の中で、安全統括管理者、各部門の管理者等がそれぞれの責務を明確にした上、安全確保のための役割を担っています。



(2) 各管理者の役割

役 職	役 割
社 長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
運輸部長 【安全統括管理者】	輸送の安全の確保に関する業務を統括管理する。
運転課長 【運転管理者・乗務員指 導管理者】	安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項及び運転士の資質の保持に関する事項を統括する。
検修課長 【車両管理者】	安全統括管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括する。
工務課長 【施設管理者工務担当】	安全統括管理者の指揮の下、施設に関する事項を統括する。
電気課長 【施設管理者電気担当】	安全統括管理者の指揮の下、電気施設に関する事項を統括する。
総務部長 【人事・財務担当】	輸送の安全の確保に必要な設備投資、人事、財務に関する事項を統括する。

6 利用者・地域の皆さまとの連携とお願い

(1) こども110番の駅

肥薩おれんじ鉄道の有人9駅では、「こども110番の駅」として地域の子どもを守るための取り組みを行っています。

〔主旨〕

- ・ 「こども110番の駅」では、不審者（犯人）から逃れるために逃げ込んできたこどもの安全を確保します。また、犯罪発生時のみでなく、日頃から安全への配慮を心がけ、安全な地域づくりに貢献するとともに、こどもにとって楽しく、フレンドリーな駅づくりを目指します。
- ・ 「こども110番の駅」のステッカーを見て、こどもが駅に助けを求めにきた場合、こどもを保護し、こどもに代わって110番通報を行うなどの対応をとります。

(2) 防犯カメラの設置

肥薩おれんじ鉄道では、安心して駅施設をご利用して頂けるよう、2013年度より順次主要駅に防犯カメラの設置工事を進めました。

7 安全報告書へのご意見に対する連絡先

安全報告書へのご感想、当社の安全への取組に対するご意見をお寄せ下さい。

肥薩おれんじ鉄道お客さまご案内窓口

TEL. 0965-32-5678 FAX. 0965-32-5411

E-mail info@hs-orange.co.jp

■月～金 9:00～17:30 （祝休日を除く）